

# 事前評価調書

I 事業概要						
事業名	街路事業					
地区名	都市計画道路 <small>なごやはんだ</small> 名古屋半田線					
事業箇所	<small>はんだしきたすえひろちょう</small> 半田市北末広町 地内始め					
事業のあらまし	<p>都市計画道路 <small>なごやはんだ</small> 名古屋半田線は、<small>なごやし</small> 名古屋市と <small>とうかいし</small> 東海市の市境を起点に半田市南部を東西に横断する都市計画道路 <small>とこなめはんだ</small> 常滑半田線に接続する主要幹線道路で、東海市と半田市を結ぶ重要な路線である。</p> <p>半田市の中心市街地は、鉄道により分断されており、主要な踏切では慢性的な渋滞が発生するとともに、一体的なまちの発展が阻害されている。それらを解消するために半田駅周辺では、<small>はんだえき</small> J R武豊線半田駅付近連続立体交差事業や <small>はんだえきまえ</small> J R半田駅前土地区画整理事業を始めとするまちづくり事業を実施している。</p> <p>本事業区間は、<small>はんだえきまえ</small> J R半田駅前土地区画整理事業で整備される都市計画道路半田駅前線を経由し半田駅の駅前広場等に接続するため、歩行者や自転車の安全性の確保及び駅周辺の円滑な交通の確保が求められている。</p> <p>このため、「歩行者・自転車の安全性向上」「交通円滑化」を主な目的として、<small>はんだえきまえ</small> J R武豊線半田駅付近連続立体交差事業等に合わせて現道拡幅を実施するものである。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>① 交通事故対策（歩行者・自転車の安全性向上）</p> <p>② 地域の活性化（交通円滑化）</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
事業費	事業費		内訳			
	11.5 億円		□工事費 2.1 億円、□用補費 9.1 億円、□その他 0.3 億円			
事業期間	採択予定年度	2026 年度	着工予定年度	2026 年度	完成予定年度	2030 年度
事業内容	<p>現道拡幅</p> <p>延長：L=375m、幅員 W=15m（2車線）</p>					
II 評価						
①事業の必要性	1) 必要性	<p>① 歩行者・自転車の安全性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現道は西側に歩道が整備されているが、狭小であり、東側には歩道が整備されていない。</li> <li>・J R武豊線の鉄道高架化による交通の円滑化や、土地区画整理事業による駅前広場の整備が実施されることから、J R武豊線の高架化に合わせた本事業区間の歩道整備が求められている。</li> </ul> <p>② 交通円滑化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現道は路肩幅員が不足していることから、円滑な交通が阻害されている。</li> <li>・交通の円滑化を図るため、J R武豊線の高架化に合わせた本事業区間の道路拡幅を実施することが求められている。</li> </ul>				

②事業の実効性	判定	A	A：現状の課題又は将来の予測から事業の必要性がある。 B：現状の課題又は将来の予測が十分把握されていない。					
		【理由】	・JR武豊線の高架化と合わせて、本事業区間を整備することで、歩行者・自転車の安全性向上及び交通の円滑化が図られるため、事業実施の必要性が高い。					
	1) 事業計画							
			2026	2027	2028	2029	2030	合計
	工種区分	調査・設計	←		→			0.3
		用地補償		←		→		9.1
		工事				←	→	2.1
		事業費	11.5					11.5
	2) 地元の合意形成		・地元自治体や鉄道事業者とは事前に調整を図っている。 ・今後、早期に事業説明を行い、沿線地権者の理解を得る予定である。					
	判定	A	A：事業計画の実効性が期待できる。 B：事業計画の実効性が期待できない。					
		【理由】	円滑な事業推進に向けた環境が整っており、事業の実行性が確保されている。					
III 対応方針								
	事業実施が妥当である	事業実施が妥当である。：上記①及び②の評価がすべてA判定であるもの。 事業実施は妥当でない。：上記以外のもの。						
IV 事後評価実施の有無と主な評価内容								
■対象（事業完了後 5年目） □対象外								
【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】								
-								
【主な評価内容】								
・交通量（全車、大型車）、旅行速度、安全性の改善状況（アンケート調査等）								